

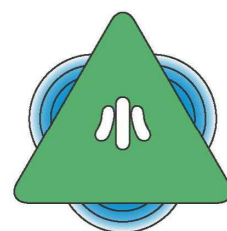
鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和5年度 学校報 No.19 文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和5年 9月15日



所長訪問を終えて

14日に秋田県教育庁中央教育事務所由利出張所所長と副主幹、中央教育事務所副主幹のお三方の先生が来校されました。3校時に各学級の授業を観ていただいた後のご指導・ご助言の一部を紹介します。



- 授業中の子どもたちの表情が全学級で生き生きしていてよい。先生方の表情もよい。今後、どこまで理解、納得しているかにつなげてほしい。
- 全学級でタブレットや電子黒板などのICTを効果的に使っている。1年生は子どもの動画を一人ずつ全員分視聴して比べていた。全員分を授業時間内に視聴できるのは少人数学級ならではのことである。
- 年3回実施する「いごちアンケート」の後に学級担任が学級の全児童と一人一人と「何でもタイム」で相談することで実態把握していることが成果につながっている。児童が「いつもで、どこでも、だれにでも」相談できる体制を大事にしてほしい。
- 少人数学級としての成果と課題はある。少人数だからと児童が楽になったり、負荷が無かったりというのではなく、時にはあえて児童が自分で試行錯誤するような場を設定して、少人数のメリットをさらに生かしてほしい。ご指導いただいたことを今後の授業改善、学校運営に生かしていきたいと思えます。

秋の三連休 有意義に

田んぼが黄金色になってきました。18日の敬老の日と合わせての三連休となります。どのようにお過ごしでしょうか。先週から夏風邪で欠席する児童がちらほら見られます。飛鳥祭に向けての練習も進んでいるところですが、みなさま、体調管理にご留意ください。

なお、発熱等の体調に不安がある場合は、まず安静を第一に早めの回復を大事にさせていただければと思います。

6年生の佐藤**さんが全国小学生陸上競技交流大会に出場します。17日(日)14:30~16:00にNHKのEテレでテレビ放送予定です。

ぜひ応援を！！

令和5年度全国学力・学習状況調査結果分析②

前回に続き、鳥海小学校の結果分析をお知らせします。

1 児童質問紙調査 質問の観点

学習意欲、学習方法、学習環境、子どもたちの諸側面等に関する質問で調査します。

(1) 基本的な生活習慣等

(2) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等

(3) 学習習慣、学習環境等

(4) 地域や社会に関わる活動の状況等

(5) ICTを活用した学習状況

(6) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

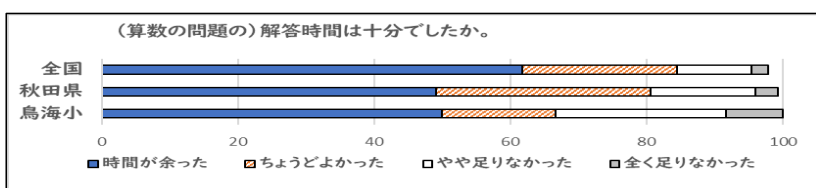
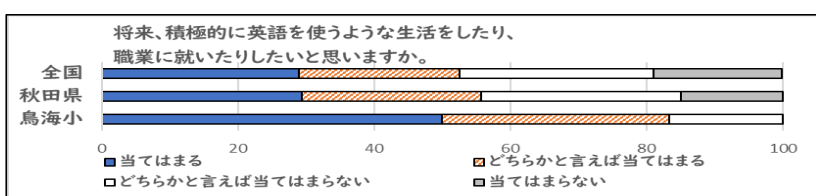
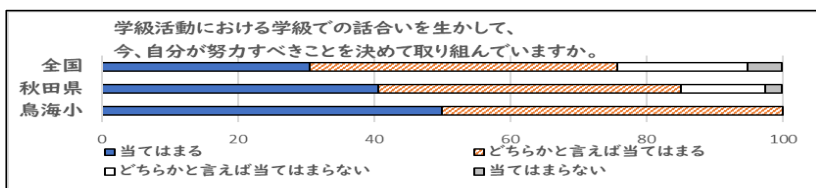
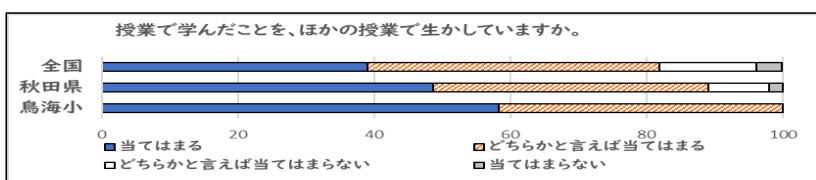
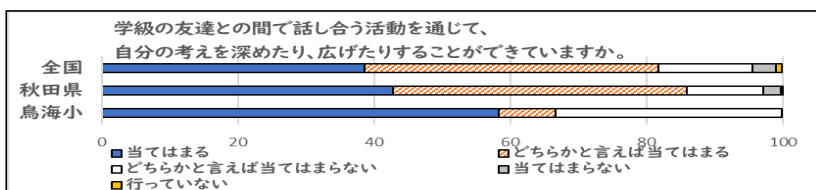
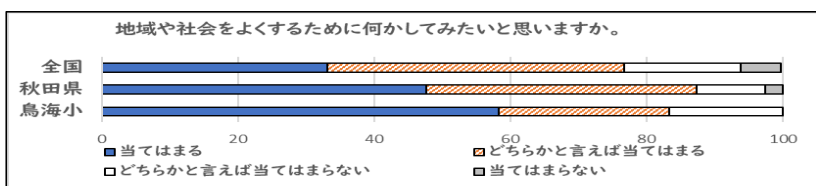
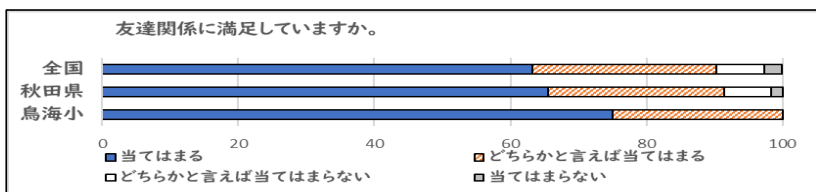
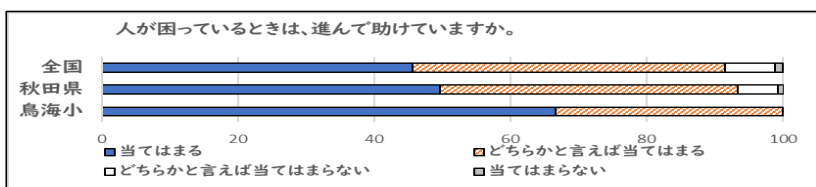
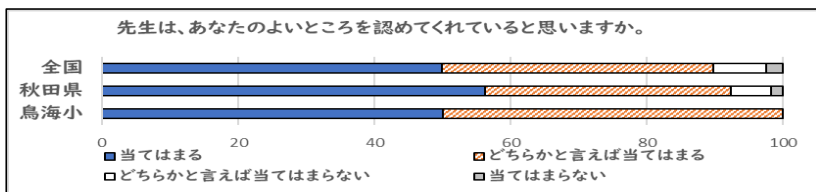
(7) 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳

(8) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語・算数・英語)

(9) 各教科に関する調査の解答状況

について計63問の質問で「児童質問紙調査」は構成されています。63問の質問に対して、19問で全員が肯定的な回答をしています。学年全員が肯定的に自己評価していることは、安全安心に学校生活を送っている表れと考えます。「朝食を毎日食べる」「人の役に立つ人間になりたいと思う」は全員が「している」「当てはまる」と回答していました。学習に対する興味・関心の「～の勉強は大切だと思う」「～は、将来社会に出たときに役に立つと思う」も国語・算数・英語全てに全員が肯定的な回答です。裏面に、秋田県の回答より肯定的な回答割合が高い質問、反対に否定的な回答が目立った質問を紹介します。

2 鳥海小学校の結果概要



「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」「人が困っているときは、進んで助けている」「友達関係に満足している」に全員が「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」を選んでいました。認められること、自分から関わること、友達とつながることの自己有用感が反映されていると捉えます。

「地域や社会をよくするために」何かしてみたいと思うについては「当てはまる」は多いのですが「どちらかと言えば当てはまらない」の割合は県平均を上回りました。一人一人の思いに寄り添って地域・社会に関わるそれぞれの関わりを価値付けていきたいです。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」も「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまらない」に二分しています。それに対して「授業で学んだことを他の授業で生かしている」「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」については全員が肯定的な回答です。学びを生かす習慣を自覚している子どもたちだからこそ、学びの過程でも一人一人にに応じて学びが深まっていくように指導の工夫が大事だと捉えます。

「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思います」という肯定的な回答は秋田県の肯定的な回答を大きく上回っています。

「算数の解答時間」については「足りない」という児童が多く見られました。解決のテンポも子どもたちの伸びしろとして授業づくりに努めていきたいです。

